

ふるさと歴史散歩

〔第141回〕 海のサムライ〜白井越中守賢胤 その三

天文後期の白井越中守は、仁保島から大島を根拠地に移し最後まで陶方の有力な水軍として戦ったようである。元就の防長制覇後、白井越中守は小早川水軍に召し出され、元就の九州経略に参加した。元就は、かつて白井越中守が広島湾へ侵入してきた海賊を退治したなどの多くの武勇伝や豪傑振りを知っていたためであろう。「敵ながら、あつ晴れ」といった具合で、彼の行動力と一貫した忠誠心を評価したのかも知れない。

元就の智将ぶりは『武家万代記』にもある。厳島合戦直前に、毛利方が厳島への偵察に船頭を送り込んだ記事がある。怪しまれぬよう、廿日市から厳島に蛤売りに行き来する船を偵察に使った。

海田湾頭の阿曾沼氏は毛利氏の傘下に入り、厳島合戦や後の戦闘に従軍して毛利氏に忠節を尽くし、安南郡の4分の1に当たる3千石を合わせた4千8百石を領した領主となり、野間氏と明暗を分けた。さて、広島湾頭を舞台とした毛利元就と陶晴賢両雄の最後の戦いは、何と言つてもあの厳島合戦である。決戦は1555年（弘治元年）9月30日の夜から翌10月1日にかけて行われ、3百艘の警固船を率いた村上水軍を味方に得た毛利元就が勝利した。元就は厳島神社を手厚く保護した。

厳島は瀬戸内海を航行する船の守護神市杵島姫命が祀られた信仰の島で社家・供僧・町人などが住む門前町として、また瀬戸内海の水運・商業の町（港湾都市）として繁栄した。ここでは唐錦、唐糸、薬などの中国からの貿易品が持ち込まれ、堺、博多、伊予、播磨などの瀬戸内海諸地域の商人たちが集まり、多くの船が出入りした。

嘉禎4年（1238年）、



厳島神社の廻廊

「伊都岐島社造廻廊員数注進状案」（『新出厳島文書』）に、国府梶取助宗が廻廊造営を寄進した記事がある。「梶取」とは、中世庄園の年貢米や公事物を船で輸送する際の責任者（水運業者）であり、庄園内に給田を支給された者もいるくらい重要な役目である。

つまり、安芸府中の梶取助宗が水運業で大成功し、その富を厳島神社の廻廊造営を寄進できる有力者であった事を示している。

府中町文化財保護審議会会長
横田 禎昭



正しいごみ出しにご協力を

府中町環境センター（八幡四丁目1-1） ☎286-3266



特別収集日

9月21日(月) 敬老の日	普通ごみ（月・木曜日収集地区）
	有価物（月曜日収集地区） 大型ごみ（桃山2丁目・青崎中）
9月22日(火) 国民の休日	普通ごみ（火曜日収集地区）
	有価物（火曜日収集地区）
9月23日(水) 秋分の日	有価物（水曜日収集地区）、大型ごみ（青崎東7～15番・青崎東31～41番）

※環境センターへのごみの持ち込みは、受け付けていません。



ごみの不法投棄は、犯罪です！
不法投棄を目撃した人は、警察に通報してください。

ペットボトル・白色トレイのリサイクル

【ペットボトル】中をよく洗って、キャップ・ラベルは普通ごみへ

【白色トレイ】よく洗って乾かす

※表裏とも白一色のトレイに限る。（色・柄物→普通ごみ）

※つまようじが簡単に刺さる発泡スチロール製で、半分に折ったとき、パリッと音がするもの。

※町内各スーパーにも白色トレイ回収箱があります。

資源物の持ち去りは禁止

ごみステーションから、紙類（新聞紙、広告チラシ、雑誌、ダンボール）、布類、金属類（缶、家庭用電気機械器具、自転車など）、ガラスびんを収集、運搬することは、町条例で禁止されています。

持ち去り行為を目撃した場合は、環境センターに情報提供してください。



ごみを出す時間にご注意を！
前夜や早朝に出すとカラスが荒らすことがあります。